

# 近代の集合住宅団地は 何を目指したか？



## 関西大学 戦略的研究基盤 団地再編プロジェクト パネルディスカッション

日時 2014年7月12日(土) 14:00～17:30

場所 関西大学千里山キャンパス 第4学舎3号館3402室

今から40年前、日本の都市化がはじまった時代以降、各地に多くの公的な集合住宅が供給され、その数は、現在、旧公団住宅が77万戸、公営住宅が220万戸にも達する。これらの公的な住宅は多くの場合、集合住宅団地という形で建設された。

世界に目を向けると、近代的な集合住宅団地の歴史は、19世紀末から20世紀の初頭にかけてはじまった。それは健康で合理的な居住空間の追求であると同時に、社会的な住宅の供給という目的に沿ったものでもあった。紆余曲折はあるが、これらの集合住宅団地は、空間的には、「細長い矩形の住棟の平行配置 (zeilenbau)」あるいは「公園の中のタワー (tower in the park)」と呼ばれる形態をとった。

このような近代の集合住宅団地は、とりわけ日本の団地は、何を目指したのであったろうか。それを振り返り、その後の展開を論じることから、集合住宅団地の価値と可能性について考えることにする。

### 【パネリスト】

鳴海邦碩 (関西大学客員教授、大阪大学名誉教授) コーディネーター  
陣内秀信 (法政大学教授)  
服部岑生 (ちば地域再生リサーチ代表、千葉大学名誉教授)  
丸茂弘幸 (元関西大学教授)  
角野幸博 (関西学院大学教授)

### 【討論参加者 (予定)】

江川直樹 (関西大学)、岡 絵理子 (関西大学)、橋寺知子 (関西大学)、小浦久子 (大阪大学)、平山洋介 (神戸大学)、星田逸郎 (星田逸郎空間都市研究所)、安原 秀 (OLA)、増永理彦 (神戸松蔭女子学院大学)

### 【申し込み先】

関西大学 戦略的研究基盤 団地再編プロジェクト  
ksdp6720@gmail.com (メールのみ受付 担当: 倉知)  
締切: 2014年7月7日(月) Tel: 06-6368-1111 + (内) 6720  
参加費無料

### 【主催・共催】

主催: 関西大学 戦略的研究基盤 団地再編プロジェクト  
共催: 都市環境デザイン会議関西ブロック